

東日本大震災被災地とともしびで繋がる

キャンドルリンク3.11

みんなで双子のキャンドルを作り
片方を被災地の子ども達に届けて
クリスマスイブに灯しあいませんか！
参加下さる方、身近で展開下さる方
お待ちしております。



キャンドルリンク3.11

■内容

大切な人と過ごす華やかなクリスマスは、震災から時間が経つこともあり、被災者と被災していない私達の温度差が大きく開く時です。自粛して経済を停滞させるのは良くないけれど、今、被災していない私たちは、楽しい時こそ被災地のことをいつも頭の片隅に置いて過ごしたいものです。

「双子キャンドル」を作り、切り離し、一本は自分に、一本は被災地の子ども達に受け取っていただき、12月のクリスマスイブに各家庭で灯しあいます。被災地と“ともしびでつながる”活動です。

16年前の阪神淡路大震災では、2年間実施しおよそ1200の方が被災地とつながりました。

※リンクの意味 / つながる、結びあう

■双子キャンドルについて

溶かしたろうに、手にぶら下げた糸の両端を浸して乾かすことを何度も繰り返して、年輪のように一重一重太らせる作り方です。数年前に英国の絵本作家ターシャ・テューダが作り話題になりました。一重一重に思いを込めることができます。長さは10センチ位、太さは2センチ位。シャンパンの空き瓶の口に立てられるようにします。

■大切なこと

一人から一人へ、思いを込めて作ったともしびを届けます。
一人でたくさん作るより、一人でも多くの方が被災地とつながって下さることを望みます。



■参加範囲

世界中誰でも！被災地の方も他の被災地とつながりませんか！



■参加方法と全体の流れ

1. お申し込み

実行委員会へ電話やメールでお知らせ下さい。不明な点がございましたら併せてご質問下さい。

2. 製作

ホームページのマニュアルや動画を参考に、家族や友人と双子キャンドルづくりを行って下さい。メッセージを入れて包装して出来上がりです。

作り方に慣れたら、身近に呼びかけて誰でも参加できる製作会を開いて下さると幸いです。ただし、恐れ入りますが、安全には十分留意し、みな様の責任の元で取り組んでいただくことをお願いいたします。

ホームページ <http://samidare.jp/candlelink/>（もしくはキャンドルリンクで検索）

3. 本部へ報告

できあがり次第、その本数をキャンドルリンク実行委員会本部へお知らせ下さい。9月よりできあがった本数をもとに、もらって下さる団体とのリンク作業を始めます。11月以降に作られる場合は、予め、おおよその製作予定数を本部まで教えて下さい。最終〆切は11月末日になります。

4. 本部へ送る

12月5日までに本部に送って下さい。仕分けして本部より12月中頃に被災地に届けます。主旨や灯し方、本部住所を書いたチラシを添付します。

■経費について

参加にあたり発生する経費（ろう、包装紙、ギフトシール、必要なら保険代、本部まで運賃等）については、恐れ入りますが参加者の皆さんでご負担下さい。

■材料と道具について

使用する「ろう」や「灯芯」は、ネットなどでキャンドル専門店から購入できます。ろうは、パラフィン、ベジタブル、蜜ろうなどいろいろな種類がありますが、どれを使ってもけっこうです。本部でも白色の「パラフィンろう」と「灯芯」は販売できます。また、結婚式場や教会、寺社より廃棄ろうソクを集めての再利用もおすすめていたします。ただし、灯芯は必ずろうソク用のものをお求め下さい。道具は身近な物でそろえられます。近郊の方には本部でもお貸しいたします。

■受け取り団体の募集について

まだ現場は混乱していますし、出来上がる数も予想できませんので、被災地へ向けて情報を流して募集するのは9月頃と考えています。ただし、皆さんにつながるのある被災地団体（学校、子ども会、避難所など）に、受け取りの希望がありましたらお知らせ下さい。そちらを優先いたします。

■本部連絡先

キャンドルリンク3.11実行委員会（本部）

〒990-1573 山形県西村山郡朝日町立木825-3

ハチ蜜の森キャンドル内

TEL&FAX 0237-67-3260 代表 安藤竜二

メールアドレス mitsurou@alto.ocn.ne.jp

ホームページ <http://samidare.jp/candlelink/>

